

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	教育委員会総務課
課 名	教育総務課

予算	款	項	目	決算書
	10	3	3	208 頁

目 名
中学校建設費

事務事業名称
中学校建設事業

1. 概要

目的	対象
安心安全な学校施設の整備を行う	児童・生徒、職員、市民
事業概要 ○三重中学校建設事業・・・校舎改築建設、駐輪場、電気設備、機械設備工事、教室・技術棟解体工事、仮設校舎設置、解体工事等 ○清川中学校建設事業・・・校舎改築建設、移転予定地造成、電気設備工事等 ○大野中学校建設事業・・・管理特別教室棟耐震補強実施設計委託業務 管理棟補強計画策定業務	

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	三重中学校建設事業	解体・改築工事	工事請負費	669,546	653,920	256,956	346,600		50,364	2
臨時	清川中学校建設事業	造成・改築工事	工事請負費	891,774	200,594	12,233	175,500		12,861	3
	新規									
臨時	大野中学校建設事業	管理棟耐震補強設計 業務・補強計画策定業務	委託料	93,140	3,001				3,001	3
計				1,654,460	857,515	269,189	522,100	0	66,226	

2. 指標設定

成果指標	指標名	老朽化施設及び危険学校施設の解消	目標年度	H26	指標の設定理由			
	数値	7棟			老朽化施設、及び、耐震性の不足する施設の早急な改善を図り、児童生徒の安全を確保する			
活動指標	指標	a 改築工事の実施	b	耐震補強工事の実施	c		d	
	数値	目標 4棟	目標	3棟	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3	活動指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
老朽化施設及び危険学校施設の解消	棟	－	－	2 棟	a 改築工事の実施	棟	0 棟	0 棟	2 棟
				28.6 %			－	－	50 %
4. 課題と対応					b 耐震補強工事の実施	棟	0 棟	0 棟	0 棟
							－	－	－
					c				
					d				

4. 課題と対応

課題
豊後大野市学校施設耐震化計画に基づき、年次別・学校別に行うが対象校が多く事業費が多額となることが課題である
対応（改善点等）
法律で実施が義務付けられた事業であり、子供の安全性を確保するためには必要であるが、多額な投資を伴うことから、コスト削減と補助金の導入について年次計画により実施する

5. 事業費・・・H 2 1～H 2 3（決算額）、H 2 4（予算現額）

決 算 額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		5,298	282,920	857,515	245,229
財源内訳	国 費		53,760	269,189	69,810
	県 費				
	市 債		159,700	522,100	158,800
	そ の 他				36
	一般財源	5,298	69,460	66,226	16,583
うち経常					
事業費に係る人件費		3,200	3,942	3,440	3,435

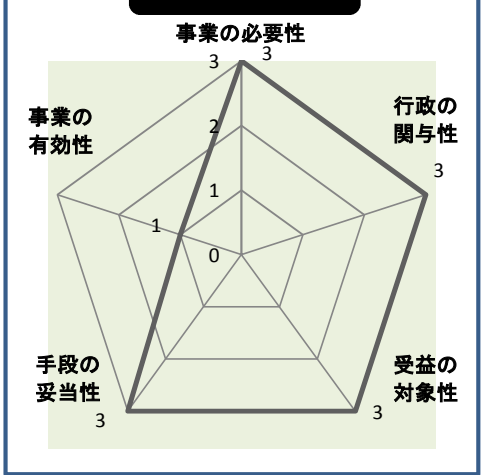
6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
年次別計画により実施することから

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	児童・生徒、利用する市民の安全性の確保から重要である（法定事務）
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	義務教育であることから行政が担うべきである（法定事務）
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	生徒から市民まで幅広く利用できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	安全性の確保から改修・改築工事を行うことは妥当である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1	年次計画の途中段階である。

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	早期完成を目指すこと